

# こうげい

誠実 元気  
信愛 規律

## ●新年度を迎えて

会長 細江 邦雄

会長に就任して約5ヶ月がたちましたが、当初は津久井事務局長がバックアップしてくれることを前提に、M科当番時に会長を引き受けることにしていました。状況が変わり、不安なこともありましたが、前会長の荒井氏と校内理事の神山氏の協力で何とかやってきました。

前会長時に軌道に乗ってきた、荒井氏と神山氏の事務局業務等の流れをより確立して、同窓会の基本であるところの会報の発行・総会の開催及び会計業務を会長としてサポート出来ればと思っています。これらのことにより次期会長へのスムーズなバトンタッチが可能な環境作りが出来ればと思います。5月の総会について、2年に1度の総会ですが、人数がなかなか集まらなかった点についていろいろと考えて見ると、理事の高齢化及び今まで参加してくれた人の高齢化があると思います。今後はある程度、総会参加人数の減少はやむをえないと考えますが、

しかし講演会の人数は確保したいので、今回、招待したPTA会長さんより、事前にPTA関係者及び生徒の参加をお願いしたいとの要望がありましたので、次回からは考えたいと思います。

次に、私個人の考えを述べさせていただきます。入学式や学校連絡協議会の席で、以前同窓会の後援で実施していた、夏期研修の復活を提案しました。提案理由として若いときの海外経験は、後の成長にプラスになると共に、最近の若い人の内向き思考を考えて、ぜひ復活できればと思っていました。学校連絡協議会では、PTA会長やOB協議委員からは、ぜひ実施出来るよう賛同を得ました。ただ、当時とは東京府の状況が異なり、同じようなやり方での実施は無理であると学校サイドからは云われました。ただ実施の方法等を学校側・PTAと協議して新しい方向が考えられればと思っています。この件に関しては、新たな方向や進展があれば会報にて報告します。

以上、任期中に出来るよう努力します。今後もしよろしく願います。

## ●「工芸基金」が

### 一般財団法人に移行

永年の懸案であった「工芸基金」の一般財団法人への移行がこのたび実現しましたので、「育英会資産」であった時代に遡って、経緯を報告します。

府立工芸学校育英会の資産であった吉浜寮は旧東京府立工芸学校の時代から工芸高校及びその歴代校長によって管理されてきました。昭和48年に湯河原町土地区画整理によって寮の建物が撤去された後は、湯河原町にテニスコートとして貸し出していました。

工芸高校創立90周年の機会に、工芸高校と築地工芸会が協力して、資産を処分し、「工芸基金」を組織し、工芸高校の生徒の教育活動振興に寄与することを目的として、現在まで管理されてきました。

「工芸基金」の目的をより確実に実行するために、「工芸基金」の一般財団法人化が検討されてきた結果、このたびの実現となりました。

## ●「一般財団法人築地工芸会工芸基金」経過報告

・2012年5月25日

従来の「工芸基金」の役員が母校に集まり、一般財団法人への移行について、竹田和義司法書士から説明を受け、審議を行い、移行に必要な委員の選定、定款の登記に必要な作業を行いました。

#### (1) 評議員選定委員

評議員を選定するための評議員選定委員は、教員と同窓会の5名により構成されます。

同窓会の評議員選定委員

中丸 啓 (FII科・昭和30年卒)

梶 広幸 (D科・昭和44年卒)

#### (2) 評議員の選定

評議員選定委員により、17名の評議員(教員・同窓会・PTA)が選定されました。

同窓会の評議員

中山 清 (M科・昭和33年卒)

石原 義久 (PIIG科・昭和30年卒)

#### (3) 設立時の理事・監事の選定

設立時の理事・監事は、教員と同窓会により構成されます。

同窓会の設立時理事

細江 邦雄 (M科・昭和41年卒)

荒井 拓哉 (D科・昭和35年卒)

同窓会の設立時監事

高木 實 (A科・昭和48年卒)

・2012年7月3日

定款の登記が完了し、第1回の評議員会が母校において開催され、定款の登記を確認しました。

・2012年7月13日

第1回理事会を母校において開催し、理事長、副理事長が選定されました。

理事長・細江 邦雄 築地工芸会会長

副理事長・松本 光正 (学校長)

(文責・荒井拓哉)

## 事務局より

## ◎一般寄付・ご芳名

本年3月24日以降、本年7月31日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。(順不同・敬称略)

浅黄由美、勝矢重利、村上由香子、櫻田りえ、福田重信、浅岡忠彦、石崎豁爾、竹内孝太郎、大場康博、真田日呂史、堀勝美、猪俣新治、金澤静夫、時田桂代、矢橋誠、吉口一広、橘正春、名倉祥一、井沢保夫、星野喜一、莊司三郎、高井英一、渡邊昇平、滝澤方美、須永栄一、関根伸司、山下泰宏、川津敬介、遠藤佑治、五反田稔、片岡彪、小川衛、鈴木輝夫、高木実、佐々木健、栃木靖男、穂坂晴之、井戸健輔、石井利庸、矢嶋弘志、飯野健次、高島順、矢ヶ崎敏和、浅岡輝彦、恩田隆志、佐野一義、大滝史博、上床亦、佐味貫義、木下幸秀、村奈嘉義雄、後藤新太郎、岩井穂積、小山幸夫、山本透、下山田信一郎、馬場和夫、金親二郎、平野堯久、伊藤正好、山田宙子、穂積敏夫、青山龍雄、村松金太郎、穴吹昭勝、石島楓、鈴木陽子、木工会36ゴルフ部、鈴木皖司、田代雄、安室典忠、若松盛正、和田英男、村山喜久、中野清、丸山士郎、鈴木季晴、矢吹郁雄、矢澤光夫、牧野昇、山田一彦、岡田進治、遠藤昇、平野佐和子、芝田良雄、大野武

夫、廣田正胤、戸矢雅道、原正美、岩崎たか子、丸茂睦夫、小池博、和田勉、萩原奈々子、三神泉、木村桂三、清水健敬、天野昭二、江澤信吾、酒光弘、石川昇二、小泉久吉、東松国雄、近藤達夫、大森昭二、雨内日向子、小田部邦彦、長壁洋、小川光、神山隆夫、中島隆、石井清一、中山清、桂盛仁、荒井拓哉、建入泰治、鈴木輝彦、内藤亮一、和田勝

平成24年度累計

一五三、〇〇〇円

## ●「OBコレクション」の展示準備スタート

津久井正幸先生がお亡くなりになって半年が過ぎました。津久井先生は生前、OBの個展など展覧会に足繁く通われ、作品を蒐集しておられました。7月の初めに、それらの作品をご遺族の方々が処分するという話を聞いたF科卒業生の福本晴男さん、A科卒業生(元教諭)の大沼千尋さんが故津久井先生のご自宅へ出向き、多くの作品を預ってききました。

その後、福本さんから、現在工芸内に在るOB展示スペースに津久井先生のコレクションを展示してはどうかという提案がありました。

現在あるOB展示スペースについては、経緯を知る先生が現在の工芸高校

にはおられないことと、OBの教員もおられなくなる可能性が高く、このまま行けば、現在展示されている作品も散逸の恐れがあることから、福本さんの提案を機に、「OBコレクション」の展示実現に向けて検討をスタートしました。

8月10日、提案者の福本さん・大沼さんと、細江会長・荒井前会長の4名に、学校長の松本先生に加わっていただき、校長室で検討会を行いました。その結果、以下の点について前向きに進めることで全員の合意が得られました。

- ① OB展示スペースは、現在の展示品に津久井先生のコレクションを加え、質の高い作品を展示する。
  - ② OB展示スペースは、今後同窓会が管理し、適宜、展示替え等のメンテナンスを行う。
  - ③ 展示を控える作品は、学校近隣のトランクルームを借りて、保管する。
  - ④ 展示スペースには、「卒業生の作品展示」等、表示を明確にする。
- 今後、築地工芸会の理事さんの合意をいただき、当会報の紙面で進捗状況を報告していきます。

## 平成24年度 工芸祭

平成24年10月27日(土)・28日(日)の2日間、母校に於いて「工芸祭」が開催されます。後輩の勉強の成果をどうぞご覧下さい。

## 「投稿を歓迎します。」

\*皆様の個展・展覧会出品・受賞、新聞で紹介された等、ご活躍の様子をぜひお知らせ下さい。写真、案内状等もできるだけご提供下さい。  
\*クラス会の様子もお知らせ下さい。  
●締切・原則として、2月末、7月末、10月末となっています。

郵送先・築地工芸会(工芸高校の住所)  
メール送付先: taquya@nifty.com

プラスチック  
金型製作

真空成型型  
プレス抜型

圧空成型型  
トムソン抜型

企画デザイン — 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

**V-MOLD** バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11  
tel 03(3614)1556 fax 03(3614)1559  
埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5  
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-  
<http://www.vmold.co.jp/>  
e-mail  
caduser@vmold.co.jp

## 注目を集める

## 秋山祐徳太子さん

昭和28年D科卒業の秋山祐徳太子（通称）さんが注目を集めています。東京新聞、毎日新聞、読売新聞に、相次いで特集記事が掲載されましたので以下に紹介します。

## ●平成24年4月24日(火) 東京新聞

## 30面の特集記事から抜粋

「泡沫の美学 アートな輝き」  
都現代美術館所蔵作品に

現都知事の石原慎太郎氏が、美濃部亮吉氏に挑んだ1975年の東京都知事選挙で、秋山祐徳太子さんが、一人の候補として参戦し、「泡沫」のパフォーマンスが都民を沸かせた。その時の都知事選挙ポスターが、40年近くのを経て、東京都現代美術館が所蔵する作品となった。

「都知事選の活動が、都から認められた。今の都知事は、ともに戦った石原さんだ。私の選挙活動もやっと終わった」秋山さんは、当時の選挙ポスター



都知事選ポスター



ダリコのポーズ

ーや街頭演説の写真が並ぶ展示室に入ると「こんなうれしいことはない」とグリコのキャラクターを模した「ダリコ」のポーズで喜びを表した。

主張は「政治のポップアート化」。スローガンは「改革の谷間に咲く白百合」三千百一票で見事に散った。「完全燃焼」のつもりだったが、「供託金が三十万円から百万円に値上げされたことへの抗議」で四年後も再挑戦した。

秋山さんは「六十年代からの世の中のエネルギーを引きずっていた当時の選挙の熱気を感じてほしい」と、昨夏、資料の寄贈を美術館に申し入れた。「断られると思っていた」が「社会に直接働き掛けたパフォーマンスの検証も美術館の役割」と受け入れられた。

かくして、都政に異議を申し立てた型破りな選挙は、都の美術館で鑑賞されるアート作品となったのだ。

## ●平成24年6月22日(金) 毎日新聞

## 夕刊

## 「道化の精神」で同時代を撃つ

60年代から前衛美術の先頭を走り続けてきた。身体表現がアートになり得るとの確信で、自身を美術展に出品したり、グリコのランナーもどきの「ダリコ」に扮して街を駆け抜けたりするポップ・ハプニングと呼ばれる活動を繰り返してきた。「伝説」として語られるのが、75年、79年の2度にわたる東京都知事選出馬。山高帽にモーニング姿での立会演説にはじまって、ポスターに至るまで選挙を芸術の場に変えた。近所の八百屋の店先でダリコのパフォーマンスを見せてもらった。非日常の光景は一幅のシュールレアリスムの絵画。背負った日輪のオブジェが夕日を照り返す。すまし顔の「生きる芸術」は、一瞬舌を出して笑っているように見えた。

## ●平成24年7月22日(日) 読売新聞

## 日曜版

## 井上晋治さんの特集記事から抜粋

## 秋山祐徳太子のダリコ

## 下町ポップ「自分が作品」

ダリコは、「ポップ・ハプニング」と呼ぶ行動芸術。デモと前衛芸術が街中にあふれていた1960年代半ばのサラリーマン時代、蒲田付近を走る通勤電車の窓から見た看板の「グリコ」のマークが発想のヒントとなった。

最初はグリコの文字をシャツに貼りつけ、東京・銀座4丁目の交差点を、あつけにとられる大勢の通行人を尻目に走り抜けた。その後、「宣伝になっ

ちやうから」と、「グ」に点を付け、ダリコが誕生した。

美大生時代は専攻した彫刻そっちのけで、もっぱら学生運動に明け暮れた。

ある時、学生デモ隊にはせ參じて機動隊と路上でにらみ合う中、双方を分かたバリケード上に、薬局によくあるカエルの人形が両手を広げて立つ姿が視界に入り、衝撃が走った。「まさにエアポケット。これだけ知的な場面はないなと思った。」

69年に会社を辞める直前、短パン姿で通勤した。シャツの文字を黒丸で消して電車に乗り、マラソンする様は、週刊誌に掲載され、テレビのワイドショーで紹介された。

「ひんしゅくと誤解をずっと買ってきたけど、僕が狙っているのはユーモア、諧謔精神だけなんです。」

「自分が作品だから、引退するのは死ぬ時です。」

下町ポップよ、永遠なれ。

## ●「印刷科 &amp; グラフィックアート科 同窓会会報」創刊号発刊される



## 「川本喜八郎の アニメーション映画集」

●東京国立近代美術館フィルムセンターの特集「逝ける映画人を偲んで」で上映される

日本映画の輝かしい歴史を築いた映画人、高峰秀子、森繁久彌、池部良、川本喜八郎など三十八氏の代表的作品を追悼する企画「特集・逝ける映画人を偲んで」は、京橋のフィルムセンターで平成23年秋に2年ぶりに開催されている。

昭和16年府立工芸木材工芸科卒の川本喜八郎（1925～2010）氏は、授業で家具を作ったり図案を描いたりしていた。旧制横浜高等工業（現・横浜国立大学）では建築を学び、戦後は東宝で美術助手を務めるも争議に巻き込まれて解雇。しかし、小道具に使う人形の製作を依頼されていた関係でフリーの人形美術家となる。幸いなことに人形製作は、飯澤匡（劇作家）氏からの仕事等で大盛況であった。

そんな当時、飯澤氏に連れられて見たチェコの人形アニメの巨匠イジ・トルンカ（1912～1969）の「皇帝の鷲」と「バヤヤ」に川本は魅せられ、この作家の下で学ぼうと決意。1963年、38歳のとき、旧ソ連支配下の厳しい時代にチェコのトルンカの処へ一年半ほど自費留学する。

### ① 『花折り』



『花折り』。からになった杯に水を汲んで大尽にひっかけたので、大尽は怒り心頭。

1968年。寺の前で花見酒をしていた大尽の酒を、小坊主は横取りしたりして大尽を怒らせる。声…黒柳徹子。

### ② 『旅』



『旅』。大理石のトルソーが並ぶ長い廊下で女性はひとりの目の不自由な男に出会う。

1973年。ひとり女性の四苦八苦する白日夢のような旅になぞって表現している。切り紙で制作されたアニメーション。

### ③ 『詩人の生涯』



『詩人』。凍てついた青年の体を母のジャケットが包んだ瞬間「詩人」であると気づく。

1974年。綿のように疲れた母親は、糸車に巻き取られて一着のジャケットになるが、青年の処に舞い降りる。切り紙のアニメーション。

### ④ 『道成寺』



『道成寺』。青年僧の美しさに心奪われた女は、深夜、寝入る僧の元に忍び寄る。

### ⑤ 『火宅』



『火宅』。ある風の日、2人の男は乙女を巡って、鴛を弓で射る勝負を行なった。

能の『求道』より、1979年。2人の男に愛されて自害した乙女の死後の壮絶な世界を描く。音…武満徹、声…観世静夫。

### ⑥ 『いばら姫』



『いばら姫またはねむり姫』。再び母の許されぬ男の小屋に行くためマントを羽織る姫。

またねむり姫。原作…岸田今日子。1990年。母の許されざる恋を、15歳という幼い身に引き継いだ姫の禁断の恋物語。制作…トルンカ・スタジオ。

石原 義久（昭30・P卒）

信頼の  
クリエイティブワークス  
株式会社 シグナム

CREATIVE PRODUCTION  
**Signum**

相談役  
大鳥身吉

160-0022 東京都 新宿区 新宿 2-3-12  
グレイスビル 4F Tel. 3341-4976

広告制作会社 たきグループ グループ創業者 滝澤方美 D3(昭29)

(株)たき工房 (株)たきホールディングス (株)日本コマーシャルフォート (株)ブラン  
(株)ワークアップたき (株)Odds Design (株)インパクトたき (株)たきC1 (株)タクト



株式会社たき工房

本社：〒108-0023 東京都港区芝浦3-14-1 インパクトビル3F TEL:03-5484-6400(代) URL:http://www.taki.co.jp

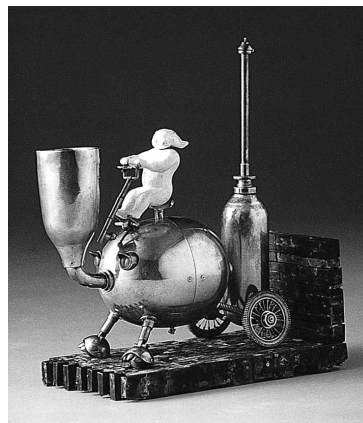
TAKI GROUP

## ■ 校友活躍の一端 ■

次の方々の個展・出品等がありました。

### ◎ 個展

片岡 浩の世界展 (元・A科教員)  
銀座・ギャラリーおかりや



片岡 浩の世界展より

松原伸生藍形染展神楽坂

(昭和59・D卒)

神楽坂アートギャラリー

長板中形・藍形染

松原伸生展

西新宿・京王プラザホテル・ロビー  
ギャラリー



長板中形・藍形染

### ◎ 出品

原弘と東京国立近代美術館

デザインワークを通して見えてくるもの

原 弘氏 (大正10・P卒)

東京国立近代美術館 ギャラリー4

第30回木葉会展

新宿区立区民ギャラリー

### ・ 油彩

石川 省吾氏 (昭和12・P卒)

人物「花の香り」・人物「森の画室」・風景「さくら・中央公園」・人形

一枚マンガの原発と新エネルギー展

千葉 督太郎氏 (昭和33・D卒)

日本新聞博物館

「訪問者あり」



訪問者あり

第41回伝統工芸日本金工展

足立区・石洞美術館

鈴木 頼彦氏 (M科教員)

日本工芸会賞

「切嵌象嵌鉢」

田口 壽恒氏 (昭和34・A卒)

人間国宝

### 「鍛錬銀面取鉢」

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

「接合の水溜」

木村 太郎氏 (平成9・A卒)

「鍛黄銅五角鉢」

佐藤 充俊氏 (平成17・A卒)

「魚紋象嵌箱」

第46回日本伝統工芸染織展

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着物「望洋」

日本橋三越本店

第60回記念 創型展 2012

福本 晴男氏 (昭和35・F卒)

「刻印・魂」

上野公園・東京都美術館・ギャラリー



刻印・魂

涼風アートフェスタ2012

佐藤 秀男氏 (昭和51・D卒)

神楽坂アートギャラリー

### ◎ 出版

昭和41・D卒の中山れいこさん (アトリエモレリ主宰) は、写真をしのごく迫力のイラストを駆使して、主に小・中学生を対象とした科学書籍を多数出版し、注目されています。

### 主なシリーズ

・ よくわかる生物多様性  
・ いのちのかんさつ

写真をしのごく迫力のイラスト！  
生物多様性を学ぶための新しい図鑑

よくわかる生物多様性①  
未来をつなごう  
身近ないのち



2010年10月10日発行  
2010年度生物多様性、COP10が名古屋で開催！  
www.jpnp40.jp

よくわかる生物多様性①



クモンビーガーデン養蜂組合  
東京店

自園採集・直売店

蜂蜜・ローヤルゼリー・花粉お届けします

〒175-0082 東京都板橋区高島平5-13-17

電話 03(3975) 5811 番

担当 西村 征一 (昭.36定M)

宝石・石止全般

株式会社 タカギ彫金工芸

代表取締役

高 木

実

(A・48卒)

〒111-0054 台東区鳥越1-23-5

電話(03)3866-0961(代)



## クラス会

### ●35機 会（昭和20年本科M科卒）

今年度クラス会は、原宿の東郷神社境内にある「クラブ水交」（7回目）で行った。病氣回復の斉藤 正君・田中清一君の嬉しい出席である。そして「クラブ水交」会場では皆出席の蛇名省三・酒寄昇一・庭屋健二・堀井良夫・松本敏明の諸兄・私の計8名であった。（今回はひとりつつ近況を語るだけのこと）であったが、「この会合が一年を通じて最もたのしい行事」と言った友がいたが、全員共通の感想であろう。さて、来年は、「三十五機思い出の記」（卒業50年記念誌）として平成10年に出版以来15年の節目に当たる



35機 会（昭和20年本科M科卒）

のを機に記念クラス会とすることが決まっている。誰もクラス会を止めようという人がなく、右の事を含めると、わが「長寿クラス会」はまだ続くようである。（鈴木規尹）

### ●精機 会（昭和21年本科M科卒）

（全員82歳）

前回の集まりの時、申し合わせた「一泊旅行」を先日「石和温泉」一泊を企画し、10名程の級友に参加を求めましたが、寄る年並みに勝てず、不参加の方、又は家人の介護で不参加の方等で、参加は元気な4人だけとなりました。

当日は飲み放題の宴会？や二次会として館内のクラブでのカラオケ歌い放



精機 会（昭和21年本科M科卒） 4人だけのクラス会

題で大いに盛り上り、往復の特急列車でも談笑し、たのしい二日間を過ごしました。次回の再会を楽しみに解散しました。（高橋雄作）

### ●昭和26年全日制M科卒クラス会

少し肌寒い4月2日、十数年来、実施しております一泊同窓会を箱根『湯本のホテル南風荘』で開催しました。昨年は東日本大震災により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、開催を中止しました。今年は、2年ぶりの顔合わせに集まった級友は12名、それに担任の久保先生には、ご高齢にも関わらず例年の様にわざわざお越しくださり、一同感謝感激です。

部屋では、昔の思い出や近況などを



昭和26年全日制M科卒クラス会

語り、また、来年四月の元気な再会を約し、家路につきました。（西田篤生）

### ●昭和29年卒定時制M科卒クラス会

毎年春に実施している一泊クラス会、今年は茨城県常陸大宮市にある山あいの静かな秘湯「湯の澤鉱泉」。年令78才になると参加者も減って10人、当初予定した観光バスを中止し、級友の中で比較的元気印の伊藤嘉一君に運転してもらい十人乗りレンタカーでツツ走った。帰路、水戸に住む小野尚士夫妻とソバ屋で落合って一杯。まだまだ元気なクラス会でした。（田嶋照郎）



昭和29年卒定時制M科卒クラス会



昭和32年全日制F科卒クラス会

●昭和32年全日制F科卒クラス会  
平成24年5月26日(土)、会場は定評のある築地・日本料理「つきぢ田村」。  
お元気な恩師・牛込源晃先生の「米寿の祝い」と、隔年開催が定着した「クラス会」を兼ねて、14名が集まりました。  
今回は先生の奥様(元教師の気さくな方)も初めて出席され、お互いが近況を語り合うなど、充実感のある、よい集まりになりました。  
なお、牛込先生から全員に、「徳川家康公伝導訓」の色紙のプレゼントがありました。  
2年後の再開を楽しみにして散会(森合延周)



昭和37年全日制M科卒クラス会

●昭和37年全日制M科卒クラス会  
去る5月19日(土)午後1時より、銀座「サンミ高松」に於いて3年ぶりにクラス会を開催しました。久保・村上両先生にご案内しましたが久保先生は所要で欠席、村上先生のみ出席で開催しました。50名に連絡が付き22名の出席でした。  
各自の近況報告、話の長い人、短い人、それぞれで定年を過ぎて大分経つ人が多く仕事の話はあまり無く健康のこと、時間が取れる様になり余暇を楽しむ、先生の昔話、本当に良く覚えていたのに感心しました。欠席の人の中にもまだ現役で仕事をしている人も何人かいました。

時間が経つにつれ盛り上がり盛況のうちにお開きになりました。余韻が残って二次会をと言う事で13名の参加で「ニュー東京」に移り2時間余、話が続き5時ごろ散会しました。まだ呑み足りない人が三次会に行った様でした。  
最近3〜4回は3年毎に開催していましたが来年は「古希」を迎え一泊のクラス会をしようと言う意見が多く出ていました。出来るかどうか分かりませんが計画をしたいと思います(南澤英雄)

### 活躍を続ける岩井昌代さん

昭和39・D卒の画家、岩井昌代さんが活躍を続けています。

・2012年5月 個展

・2012年6月 個展  
ヒルトン東京ギャラリー

・川崎市野川・アリーノ2Fギャラリー  
個展を機に、アリーノに100号サイズの作品を寄贈されています。

・2012年6月 AACACT ART COM-ART & Design Fair 2012ご出品

・2012年

7月

八重洲・パ

リ祭201

2展に出品

東京駅・ギ

ャラリー八

重洲・東京



個展会場での岩井さん

### 訃報

155号以後、ご連絡がありました方々です。ご冥福をお祈り申しあげます。

(一)内は逝去された日です。

|           |          |           |           |           |           |           |           |            |           |          |           |          |            |            |            |           |           |        |           |          |            |          |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|----------|-----------|----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|--------|-----------|----------|------------|----------|
| 大塚        | 笠井       | 加藤        | 柚口        | 掛川        | 村山        | 野中        | 澤田        | 菊池         | 雲見        | 仲        | 小川        | 白石       | 北村         | 市川         | 矢島         | 福田        | 林         | 福本     | 矢野        | 笠原       | 仲谷         | 岩井       |
| 信次氏       | 市彦氏      | 泰広氏       | 共導氏       | 治夫氏       | 喜久氏       | 成美氏       | 育男氏       | 明氏         | 昱也氏       | 低次郎氏     | 善孝氏       | 清氏       | 清吉氏        | 誠氏         | 博氏         | 昭二氏       | 輝太郎氏      | 誠氏     | 芳男氏       | 英司氏      | 辰哉氏        | 穂積氏      |
| 昭61・A卒    | 昭39・M卒   | 昭37・D卒    | 昭37・M卒    | 昭37・M卒    | 昭36・F卒    | 昭32・F卒    | 昭32・F卒    | 昭29・M卒     | 昭28・M卒    | 昭27・P卒   | 昭27・M卒    | 昭25・M卒   | 昭25・A卒     | 昭24・M卒     | 昭21・P卒     | 昭20・M卒    | 昭20・A卒    | 昭18・M卒 | 昭17・F卒    | 昭15・P卒   | 昭13・M卒     | 昭10・M卒   |
| (24・8・21) | (20・2・5) | (24・1・15) | (24・3・30) | (24・1・27) | (24・2・26) | (24・7・19) | (24・6・13) | (22・10・31) | (24・3・30) | (23・1・3) | (24・5・15) | (24・4・1) | (22・11・11) | (23・12・25) | (23・11・26) | (22・9・11) | (24・2・28) | (24・4) | (24・2・12) | (23・1・9) | (22・12・10) | (24・4・9) |

### 第49回中京工芸会総会のご案内

五反田 稔(昭35・M卒)

日時・10月21日(日) 13:00

場所・料亭「大森」

(地下鉄「浄心」下車)

名古屋市中区城西4-30-3

TEL 052-522-8331

## 母校だより

### 母校人事

○就任（敬称略）

佐藤 充俊 A 科

### コンクール等の入賞者・成績

#### MACHINE CRAFT

平成24年4月 資格取得状況

●危険物取り扱い扱い乙種第1類 1名

●危険物取り扱い扱い乙種第2類 6名

●危険物取り扱い扱い乙種第3類 9名

●計算技術検定1級合格

3年 大島華子 小林美智子

佐々木彩 富岡由衣

外山和洋 中島玲香

長谷川要 久留遼太

2年 仲田大樹 新妻卓士

藤岡俊平

●機械製図検定

3年 角野拓哉 小林美智子

櫻井太郎 佐々木彩

佐藤愛美 中川朋亮

中島玲香 長谷川要

皆川希

●ジュニアマイスター顕彰ゴールド

3年 大島華子 小林美智子

佐々木彩 中島玲香

長谷川要 皆川希

●ジュニアマイスター顕彰ゴールド

3年 櫻井太郎 富岡由衣

久留遼太

2年 新妻卓士 藤岡俊平

### INTERIOR

●全イ研主催

第6回ものデザインコンテスト

クラフト部門

優秀賞 3年 岡田顕孝

優良賞 2年 野口沙絵 小林遼大

長嶋奈々 勝部彩子

インテリアデザイン部門

最優秀賞 3年 眞下結衣

優良賞 3年 松葉七海

2年 伊勢萌乃

●レタリング検定

3級 2年 32名合格

●色彩検定

2級 2・3年 5名合格

### DESIGN

●わくわくどきどきものづくり工作教室

ポスター、パンフレット原画作成

3年 呉鳳倫

●(冊子) 都立高校に入学を希望する

皆様へ

表紙原画作成 3年 石橋弓子

挿画作成 2年 伊藤彩歌

寺田桃己

3年 河原千明

●24年度学校要覧

表紙原画作成 3年 呉鳳倫

●文京区社会を明るくする大会

ポスター、パンフレット原画作成

3年 渡祥子

### 定時制

●第6回建築系高校生対象コンペティ

ション

『食を楽しむ軽井沢の家』

(中央工学校／中央工学校OSAK

A 主催)

奨励賞 3年I 田原音哉

●第3回高校生対象コンテスト

『夢のマイルームコンテスト』

佳作 3年I 加納美乃里

3年G 熊谷明子

寺脇亜美

奨励賞 3年G 大竹美菜子

鈴木さとみ

山口綾華

「検定合格」

●平成24年度 第23回

パソコン利用技術検定試験2級合格

2年A 岩村瞭 金子由紀

小林榮美里 小松崎瑞葉

佐久間聖 佐々木恵

田口なつみ 星なな子

2年M クレシハヤト

3年M 関野太紀 坂口光

●計算技術検定 2級合格

4年M 橋本涼太郎

●計算技術検定 3級合格

2年M 石井礼天 クレシハヤト

越地勇太 土屋皓史

松村欽一郎 南川育

宮澤智也

4年M 中島勇希 細野真平

●紙面の都合で、部活動報告は割愛しました。

## I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清  
(昭33年M科)

〒167-0051  
東京都杉並区荻窪5丁目26番13号  
荻窪TMビル2階  
電話 03-5397-0891  
FAX 03-5397-0893

## 真空から高圧まで 配管部品

MAK

株式会社 マキザキ

本社●〒146-0082  
東京都大田区池上3-22-20  
TEL. 03-3752-2671 (代)  
FAX. 03-3752-4017  
工場●〒962-0402  
福島県須賀川市仁井田大谷地311

ic用各種タイバーカッター  
各種専用機 設計製作

## (有)神戸自動機製作所

代表取締役 神戸 道夫  
定M13 (昭36)

〒270-0156 千葉県流山市西平井1031-7  
TEL.0471-59-6201 FAX.0471-59-5127